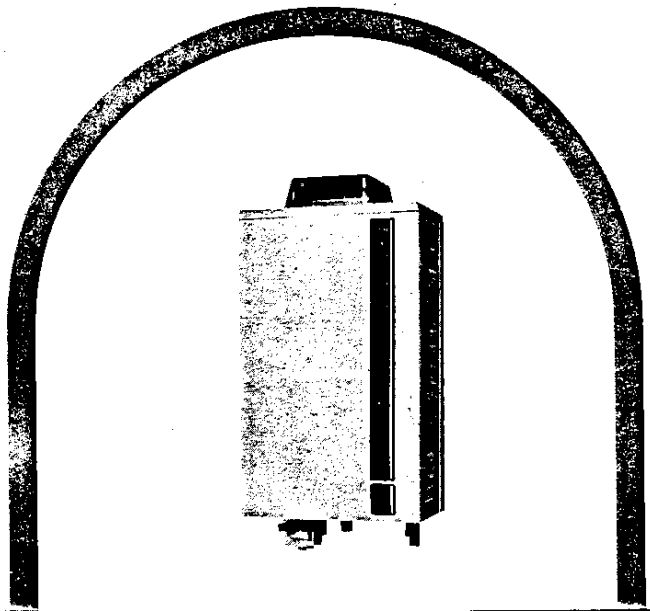
大阪ガス

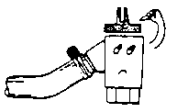
ガスセントラル給湯機能付外だきタイプ
取扱説明書　31-077型

保証書付

ニュージェットフロー10　型式名 V10R6型



ガス器具をご使用になるときのご注意



ガス器具を
ご使用になった
あとは必ず
ガス元栓も
閉める習慣を

ガス器具を
ご使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく操作してください。
なお、ご不明な点があればお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

ごあいさつ

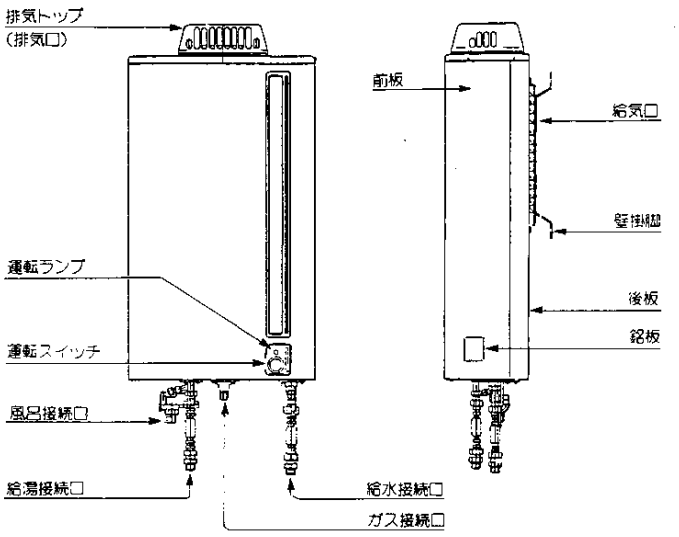
このたびは、大阪ガスのニュージェットフロー10をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

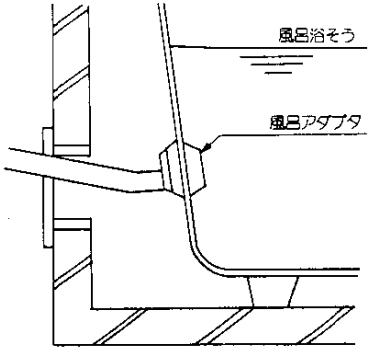
● 各部の名称…… 2
● 特に注意していただきたいこと…… 4
● 器具の設置…… 9
● 使用手順…… 10
● 使用時のご注意…… 18
● 日常の点検・手入れ…… 22
● 故障・異常の見分け方と処置方法…… 24
● 長期間使用しない場合…… 28
● アフターサービス…… 28
● 特　　長…… 30
● 仕様一覧表…… 31
● 外形寸法図…… 32
● 別売部品のご紹介…… 33
● 本製品と快適なくらしのために…… 34

各部の名称

器具本体

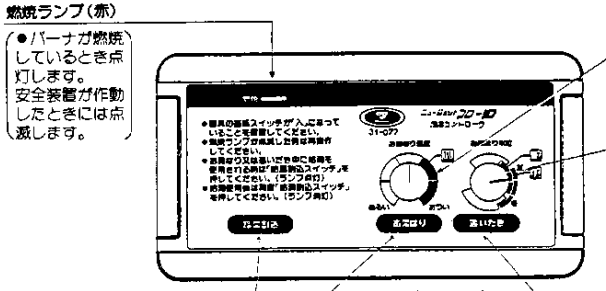


風呂アダプタ



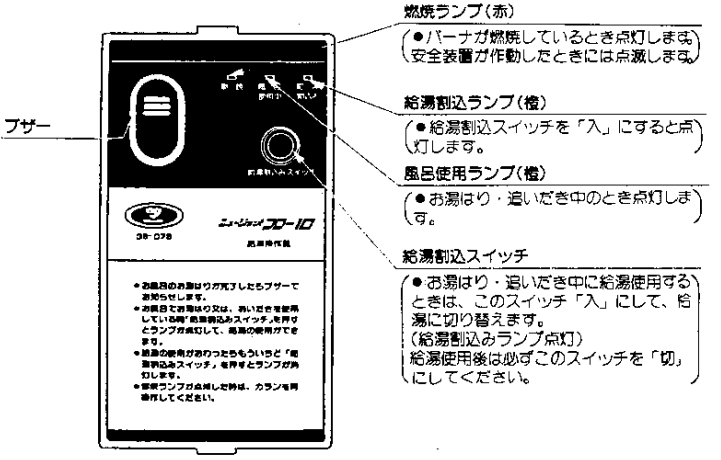
各部の名称②

風呂コントローラ



給湯操作盤(別売部品)

(お湯はり・追いだきが終了するとブザーでお知らせします。)



特に注意していただきたいこと

正しく安全にご使用いただくために、この項は必ずお読みください。

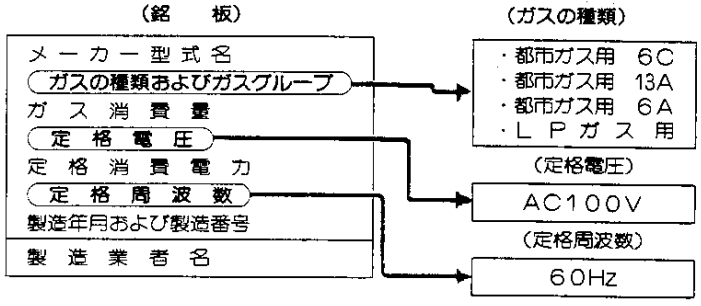
使用ガス・使用電源についてのご注意

❶ガス器具本体（銘板）に表示しているガスの種類・ガスグループおよび電源（電圧・周波数）以外では、使用しないでください。

❷銘板は器具本体の右側面下に貼ってあります。

❸ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。お宅のガスと一致していることをご確認ください。

❹この器具の電源電圧は（AC100V）電源周波数は（60Hz）です。
お宅の電圧および周波数と一致していることをご確認ください。



用途についてのご注意

●給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

使用場所についてのご注意

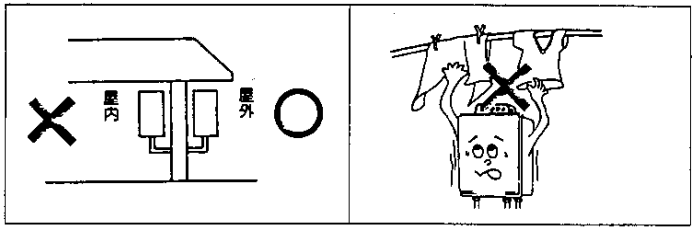
1器具の使用場所について

❶屋外設置専用の器具です。屋内には絶対設置しないでください。

❷壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

❸排気トップの上に洗濯物などがかからない所に設置してください。

❹詳しくは「工事説明書」を参照してください。



2器具の使用地域について

●井戸水や硬度の高い硬水地域では使用できないことがあります。
（※詳しくはお買い求めのサービスショップ、または大阪ガス支社におたずねください。）

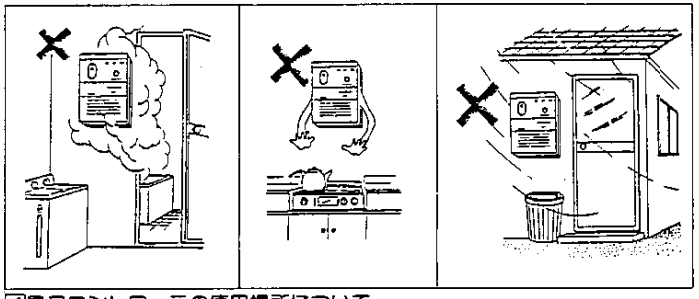
3給湯操作盤（別売部品）

❶湯気、湿気のないところに設置してください。

❷ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所への設置は避けてください。

❸屋外に設置しないでください。

❹詳しくは「工事説明書」を参照してください。



4風呂コントローラの使用場所について

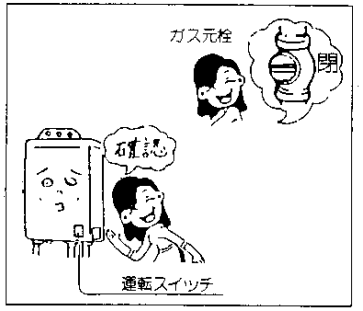
●浴室または脱衣場に設置しますと便利に使用できます。シャワーの水がいつもかかりそうなところへは設置しないでください。

特に注意していただきたいこと ③

ガス漏れ予防

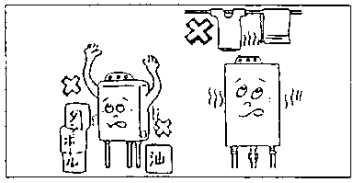
❶お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元栓を閉じ、運転スイッチを押して「切」にしてください。
（※運転ランプが消灯していることをご確認ください。）

❷ご使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしていないことをときどきご確認ください。



火災予防

●洗たく物・ダンボール箱・揮発油などの燃えやすいものを、器具の上やそばに置いたり、近付けたりは、絶対にしないでください。

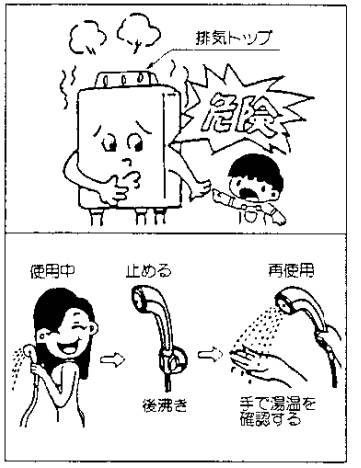


特に注意していただきたいこと④

やけどのご注意

❶器具をご使用中または使用後しばらくは、器具本体（特に排気トップ）が熱くなりますので、絶対に手を触れないでください。
（※小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、特にご注意ください。）

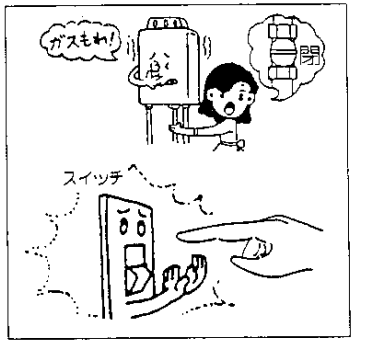
❷給湯使用後、すぐにシャワーをご使用のときは、いきなりからだや頭にかけないで、手で湯温を確認してご使用ください。
（※器具の後沸きにより、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、十分にご注意ください。）



ガス事故防止

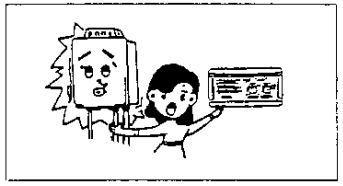
❶器具のガス漏れに気付いたときは、ただちにご使用を中止して、ガス元栓を閉じ、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

❷器具のガス配管からガスが漏れたときは、火を付けたり、他の電気器具のスイッチの「入」、「切」や電源プラグの抜き差しなどは、絶対にしないでください。



異常時の処置

❶風呂コントローラの燃焼ランプ(赤)が点滅したときは、使用を中止して、ガス元栓があいていることを確認して再操作してください。

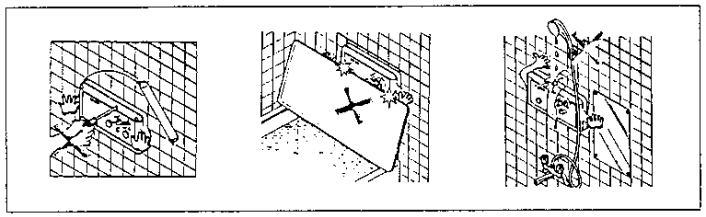


❷ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止して、十分な点検をお願いします。

(※「故障・異常の見分け方と処置方法」については、24ページをお読みください。)

風呂コントローラについてのご注意

❶風呂コントローラは、絶対に分解しないでください。
❷浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てたりしないでください。
❸風呂コントローラにシャワーなどの水が直接かからないようにご注意ください。

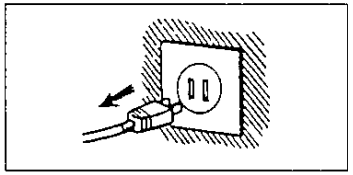


日常の点検・手入れ

●器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください。
〔※点検・手入れの方法については22～23ページをお読みください。

落雷について

●落電のおそれのあるときは、使用を中止して電源プラグを抜いてください。また、電源が直接分電盤から配線されているときは、その配線ブレーカを切ってください。



入浴剤の使用について

●硫黄系の入浴剤は風呂アダプタが腐食する原因となりますから、使用しないでください。

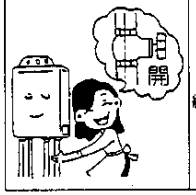
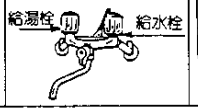
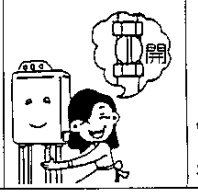
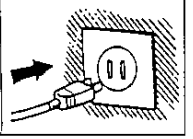
器具の設置

❶器具の設置は、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に、正しく行ってください。
〔※詳しくは「工事説明書」をごらんください。〕
❷この器具は屋外用ですので、屋内には絶対に設置しないでください。

使用手順

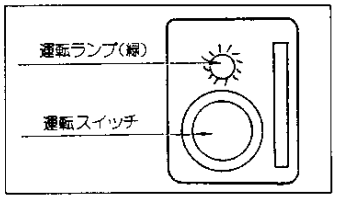
ご使用前の準備と確認

●ご使用前には、次の手順にしたがって準備と確認を行ってください。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
●給水元栓を全開にしてください。	●給湯栓を開いて水が出ることを確認して、給湯栓を閉じてください。	●ガス元栓を全開にしてください。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
			

手順 5

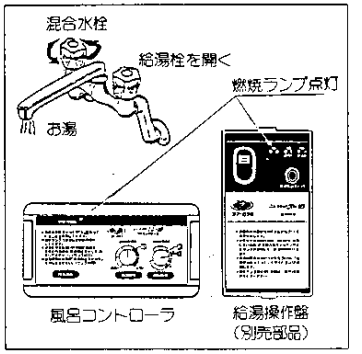
❶器具本体正面の運転スイッチを押して「入」にしてください。
※運転ランプ(緑)が点灯します。
❷次に「点火・給湯(お湯の出し方)」、「風呂のお湯はり」または「風呂の追いだき」の使用手順にしたがって操作してください。



器具本体正面の右下

点火・給湯(お湯の出し方)

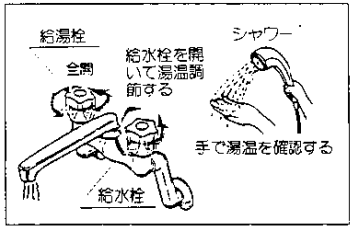
❶器具本体正面右下の運転ランプ(緑)が点灯していることをご確認ください。
❷給湯栓を開くと、自動的に点火し、お湯が出てきます。
(※風呂コントローラ、給湯操作盤(別売部品)の燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



《ご注意》
❶使いはじめは、給湯配管内にたまった水が流れるまで、お湯は出ません。約30秒待ってもお湯が出ないときは給湯栓をいったん閉じ、ふたたび給湯栓を開いてください。
❷給湯栓を絞りすぎると、点火しなかったり、消火することがあります。
❸この器具を、快適にご使用いただくには、1kg/cm²以上の水圧が望ましい条件です。ご使用中でも水圧が下がると、消火しますが故障ではありません。

湯温調節

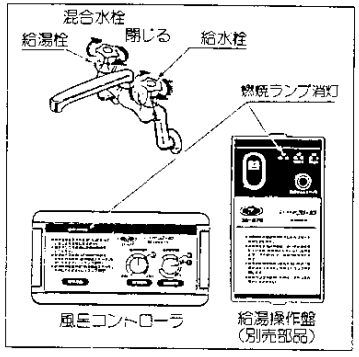
●器具出口の出湯温度は高温設定(60℃)してありますので、必ず混合水栓で、湯と水を混ぜてお好みの湯温に調節してください。



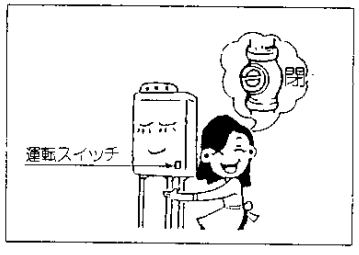
《ご注意》
❶同時給湯について
2箇所同時に給湯使用したときは、湯温が熱くなったり、ぬるくなったりすることがありますので、特にシャワーをご使用中は、同時使用にならないようにご注意ください。
❷器具出口の湯温が約60℃になるようにしてありますが、水温が低いとき(冬場)や湯量が多いときには、60℃にならない場合があります。
そのときは給湯栓を少し絞って、湯量を少なめにすると60℃のお湯が得られます。ただし、絞りすぎると消火することがありますので、ご注意ください。

消火・給湯停止(お湯の止め方)

●給湯栓(給水栓)を閉じると、自動的に消火し、お湯が止まります。
(※風呂コントローラ、給湯操作盤(別売部品)の燃焼ランプ(赤)が消灯します。

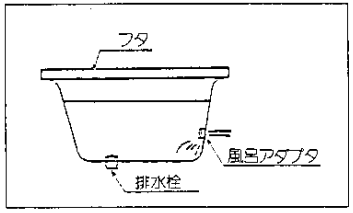


《ご注意》
●おやすみ、外出の時または長時間使用しないときは、器具本体正面の運転スイッチを押して「切」にして、ガス元栓を閉じてください。

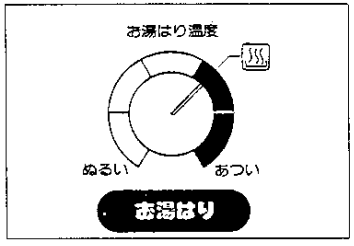


風呂のお湯はり

1お湯はりの準備
❶浴そうの排水栓をしっかりと、はめ込んでください。
❷浴そうのふたを閉じてください。

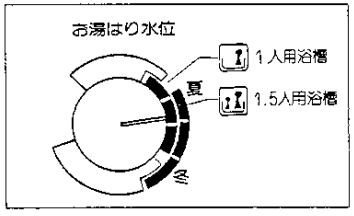


2お湯はり温度の調節
❶風呂コントローラのお湯はり温度調節つまみを、およそ、右図の位置にセットしてください。
(約42℃のお湯はり温度になります。)
❷右図のつまみ位置を目安にして、お好みの温度に調節してください。



3お湯はり水位の調節
❶お湯はり水位調節つまみを、季節と浴そうの大きさに応じて、右図の位置にセットしてください。

❷お湯はり水位調節つまみを回し、絵文字を目安にしてお湯はりの水位を調節してください。

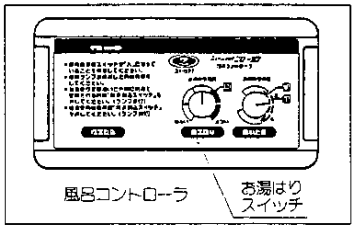


使用手順⑤

4お湯はりの運転

❶風呂コントローラのお湯はりスイッチを押して「入」にしてください。
（※お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。）

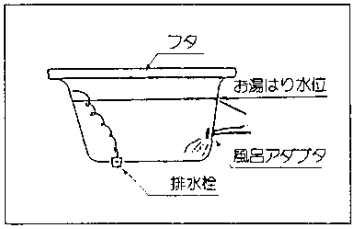
❷自動的に点火して風呂アダプタから調節した温度のお湯が出てきます。



5お湯はりの自動停止

❶お湯はり水位調節つまみの調節位置に応じた水位に達すると、自動的にお湯はりは停止します。
（※給湯操作盤(別売部品)をご使用の場合は、お湯はりが終了するとブザーでお知らせします。）
（※お湯はりランプ、燃焼ランプが消灯します。）

❷お湯はり終了後は、通常の給湯使用ができます。



6お湯はりの途中停止

❶風呂コントローラのお湯はりスイッチを押して「切」にしてください。
（※お湯はりランプ、燃焼ランプが消灯します。）

❷お湯はりは途中停止します。

使用手順⑥

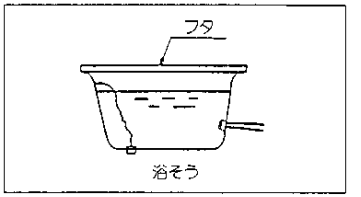
風呂の追いだき

1追いだきの準備

❶浴そうの水(湯)の水位を確かめてください。

❷湯が少ないときはお湯はりをしてください。
（※このとき、あついめのお湯はり温度に調節しておくと追いだきをしなくても適温の入浴温度にすることもできます。）

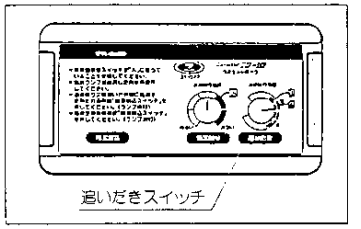
❸浴そう内の温度を確かめてぬるいときに追いだきをしてください。



2追いだきの運転

❶風呂コントローラの追いだきスイッチを押して「入」にしてください。(追いだきランプ、燃焼ランプが点灯します。)

❷自動的に点火して、風呂アダプタから配管中の空気が出た後(1～2秒)に、高温水がでてきます。



3追いだきの途中停止

● 追いだきを途中でとめたいときは、追いだきスイッチを押して「切」にしてください。運転を停止し高温水もガスもとまります。
(追いだきランプ、燃焼ランプが消灯します。)

《ご注意》

❶高温水で沸かしますから、浴そうの湯量が増えてきます。

❷沸かす前の水(湯)の水位をいつもあわせておきますと追いだき時間もほぼ同じになります。ただし、季節(浴そうの水温)によって追いだき時間を合わせてください。

使 用 手 順 ⑦

前日の残り湯を沸かすとき

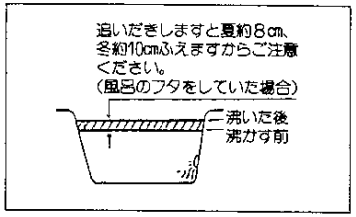
●入浴後は、必ず風呂のフタを閉める習慣をつけてください。お湯がさめにくくなります。また浴室のカベ・天井などにカビ発生が少なくなります。

〔※使用手順は、15ページの追いだき使用手順と同じです。〕

〈ご注意〉

❶高温水で沸かしますから浴そうに水が入っていることを必ず確認してください。
水がない状態で点火しますと、安全装置がはたらいて運転を停止します。

❷高温水で沸かしますから、湯量が増えてきます。
右図のように残り湯が多いときは、季節により異なりますが、いつも入浴されている水位より8cm～10cm排水して水位を下げてから沸かしてください。



❸浴そうの種類・大きさ・設置条件・季節の変動などにより沸かす時間がちがいますから沸かしすぎないようにご注意ください。
沸かす前の残り湯の水位をいつもあわせておきますと沸かす時間もほぼ同じになります……季節が変われば時間は変化します。

使用手順⑧

お湯はり・追いだき中に給湯使用するとき

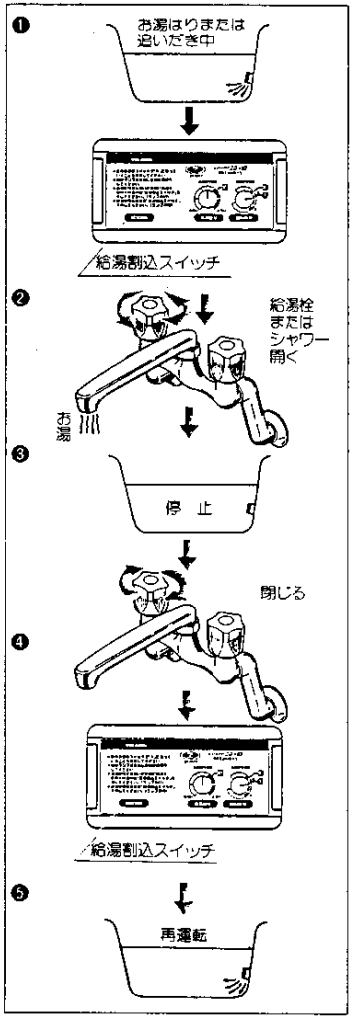
❶お湯はり・追いだき中に風呂コントローラ・給湯操作盤(別売部品)の給湯割込みスイッチを「入」にしてください。
(※風呂コントローラ・給湯操作盤(別売部品)の給湯割込みランプが点灯して、燃焼ランプが消灯します。
(※お湯はり・追いだきランプは消灯しません。

❷給湯栓を開くと、お湯が出てきます。
(※風呂コントローラ・給湯操作盤(別売部品)の燃焼ランプが点灯します。

❸給湯割込みランプが点灯している間は、お湯はり・追いだきの運転は停止します。
(※お湯はり・追いだきランプは点灯しています。

❹給湯をご使用後は必ず給湯栓を閉じ、給湯割込みスイッチを「切」にして、給湯割込みランプの消灯をご確認ください。

❺給湯割込みスイッチを「切」にすると、元のお湯はり・追いだきの運転状態に戻ります。
(※お湯はり・追いだき中に給湯割込みしても最初に設定した浴そうの水位(時間)は変わりません。



使用時のご注意

❶飲料用、調理用としてお使いのとき
器具内に長時間たまった水は飲料用または調理用に用いないでください。

❷使用後すぐに再度お使いになるとき
器具の後洗きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、少しだしてから手を触れるようにしてください。

❸給湯栓の同時使用について
2箇所同時に給湯使用したとき、湯温が低くなることがあります。
シャワー使用中は、同時使用は避けてください。

❹水圧が下がったとき
この器具は、1kg/㎠以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が下がると、メーンバーナは消火しますが故障ではありません。

停電時の処置

〔停電中は照明器具なども消えますので、ご確認ください〕

1お湯はり・追いだき中の停電の場合

❶風呂アダプタから水が流れ放しになりますので、器具下の給水元栓を閉じて通電するまでお待ちください。

❷通電した時は、給水元栓を開いて、10~17ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

《ご注意》
通電後、お湯はり、追いだきをしたときは、お湯はりの水位はスタート時の状態に戻っています。お湯はり水位つまみをそのままの位置で使用されると、お湯があふれたり、沸かしすぎになりますので、お湯はり水位つまみを再設定してください。

2給湯使用中の停電の場合

❶給湯栓を閉じて通電するまでお待ちください。

❷再通電したときは、10~17ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

断水時の処置

❶断水のときは運転スイッチを「切」にし、給湯栓を閉じてください。

❷通水後は、10~17ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

《ご注意》
お湯はりまたは追いだき中の断水の場合は、スイッチを「入」のままにしていますと、お湯はり水位タイマーが作動しつづけます。

冬期の凍結による破損予防について

冬期には、寒冷地以外でも急な寒波のため器具内の水が凍結し、器具を破損することがあります。器具が凍結し、破損すると高額な修理費用がかかることがありますので、次のような処置をして器具の凍結による破損を予防してください。

1凍結予防装置

- この器具には、万一凍結予防処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために凍結予防ヒータを組み込んでいます。外気温が下がると自動的に器具内を保温します。(運転スイッチを切ったままでも凍結予防ヒータは作動します。)
これは、凍結予防のためのもので、外気温が極端に低くなるような場合は、効果がありませんので、以下の処置をしてください。

《ご注意》
- 器具内の水を抜くとき以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜くと凍結予防ヒータが作動しません。

使用時のご注意③

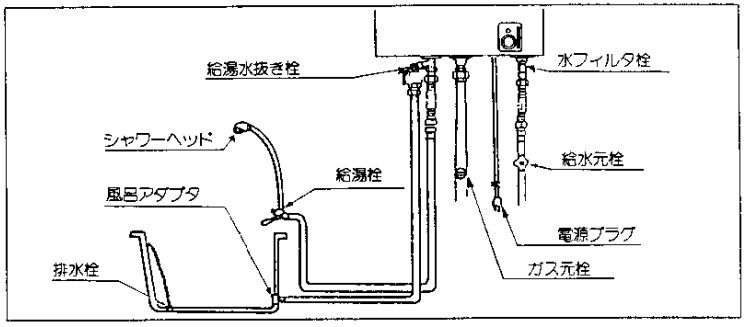
2器具内の水を抜く方法

〔入居前や長期不在の場合、または外気温が－5℃以下になるような場合〕

●この方法では、給水・給湯配管部分の凍結予防は出来ませんが、凍結から器具を保護するのに最も良い方法です。

〔水抜きの手順〕

❶運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
❷ガス元栓を閉じてください。
❸給水元栓を閉じてください。
❹すべての給湯栓を開いてください。
❺給湯水抜き栓、水フィルタ栓を左に回して外してください。



●風呂配管の凍結による破損予防について

外気温度が極端に低くなるおそれのある場合は、浴そうの水をご使用後に抜いてください。

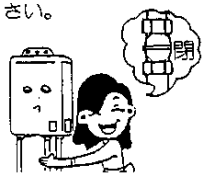
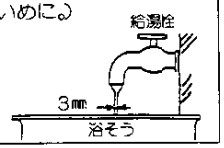
〈ご注意〉

❶給湯栓は、次にお使いのときまで開いたままにし、水フィルタ栓および給湯水抜き栓は、はずしたままにしておいてください。
❷再度、使用されるときは、給湯水抜き栓および水フィルタ栓を閉じ、給水元栓を開いて、給湯栓から水が流れるのを確認してください。このとき給湯水抜き栓、水フィルタ栓から水漏れがないことをご確認ください。
❸水漏れがなければ、10～17ページの「使用手順」の項にしたがって操作してください。

使用時のご注意④

3給湯栓から水を流しっ放しにする方法

●器具本体だけでなく、給水・給湯配管の凍結予防にもなります。

ガス元栓を閉じてください。 	運転スイッチを「切」にしてください。 ※電源プラグを抜かないでください。	給湯栓より少量の水を流してください。1分間に牛乳ビン1本(200cc)以上。(寒い日は多いめに。) 

〈ご注意〉

●給湯栓からの流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

日常の点検・手入れ

❶この器具を、安全に、快適に、ご使用いただくために、必ず「日常の点検・手入れ」をしてください。
❷「日常の点検・手入れ」の際には、〔運転〕スイッチを押して「切」にして、器具が十分に冷えてから（約10分後）にしてください。
❸器具本体の前板などは、絶対に外さないでください。

日常の点検

❶器具の周辺にダンボール箱などの燃えやすいものは、置いていませんか？
❷器具周辺のガス配管部から、ガスが漏れていませんか？
❸器具周辺の給水配管や給湯配管から、水が漏れていませんか？
❹器具の給気口や排気口（排気トップ）をダンボール箱などで、ふさいでいませんか？
※給気口や排気口の位置は、2ページの「各部の名称」の項をごらんください。
❺器具のご使用に支障がなくても、2～3年に一回くらいは、バーナの燃焼状態や各部の作動に異常がないことを、定期的に点検することをおすすめします。
●これは器具を安全に、快適に、長く、ご使用になるための〔ひけつ〕です。

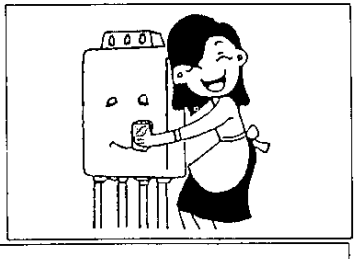
（※定期点検のご依頼は、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。）

日常の手入れ

1前板のそうじ

❶器具の前板の汚れは、やわらかい布、またはスポンジに台所用中性洗剤を付けて、そうじしてください。

❷汚れを取り除いた後で、水拭きおよび空拭きをして、洗剤を落としてください。



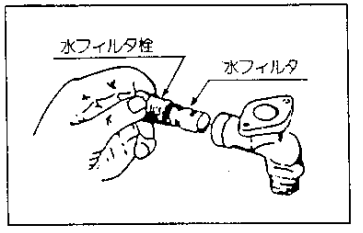
《ご注意》
❶風呂コントローラ・給湯操作盤(別売部品)には、直接水がかからないようにご注意ください。
❷そうじのあとには、洗剤が残らないようにご注意ください。
❸金属たわし・みがき粉・シンナー・ベンジンなどは、使用しないでください。
※キズが付いたり、色が変ったり、文字が消えたりします。

日常の点検・手入れ②

2水フィルタのそうじ

●この器具の給水接続口（水抜き栓）には、水フィルタが内蔵されています。その水フィルタに給水配管内のごみや砂などがたまりますと、器具内を通る水量が少なくなるために、不着火や途中消火などの原因となりますので、ときどき点検・そうじをしてください。

❶給水元栓を閉じてください。
❷給水接続口の水抜き栓を外してください。
❸水抜き栓の水フィルタ部をそうじしてください。
❹そうじ後、水抜き栓を給水接続口にしっかりと締め込んでください。

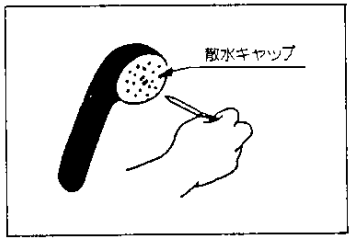


《ご注意》
●給水接続口の水抜き栓を外すときには、水が多量に出てきますので/バケツや洗面器などで、受けてください。

3シャワーヘッドのそうじ

●シャワーをご使用のときに、お湯の量が少な過ぎたり、不着火や途中消火がときどき起こる場合は、シャワーヘッドの散水キャップにごみが詰まっていることがありますので、点検・そうじをしてください。

❶シャワーヘッドの散水キャップをドライバーなどで外してください。
❷散水キャップの穴を針や千枚とおしなどでそうじしてください。
❸シャワーヘッドの散水キャップを元通りに、取り付けてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

❶最低作動水量について

器具内の通水量が最低作動水量（1.6ℓ/分）以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いのないように、ご注意ください。

❷同時給湯について

2箇所同時にお湯を使用するときに、給湯配管の方法、給湯栓の開きぐあいによって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なることがあります。特に器具から遠い場所、高い位置の給湯栓では、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯栓を使用しますと湯温や湯量が変動しますので、同時使用を避けてください。

❸お湯の白濁について

出湯直後にお湯が白くにごって見え、しばらくすると透明になることがありますが、これは水中に溶けこんでいた空気が熱せられ大気圧まで急速に減圧されることで細かい気泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害のものです。

故障・異常の見分け方と処置方法 ②

現象／原因	給湯栓を開いても一着火しない。着火しにくい。	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	お湯を止めても消火しない。	燃焼ランプが点滅する。	お湯が出てこない。お湯はりスイッチを「入」にしても追いだきスイッチを「切」にしても水が止まらない。	お湯はりスイッチを「入」にしても追いだきスイッチを「切」にしてもお湯はりスイッチを「切」にしても水が止まらない。	お湯はりが適温にならない。	追いだきができない。使用中、急そうにお湯はかりふえて	処置方法	参照ページ
ガス元栓の開き不十分。					○			○		運転スイッチを「切」にしてガス元栓を全開にしてください。	8
ガス配管内に空気が残っている。					○					運転スイッチを「切」にして再び点火してください。	9
給水元栓の開き不十分。	○	○						○		給湯栓をいったん閉じてから給水栓を全開にしてください。	8
水圧が適切でない。	○	○	○				○	○		点検、修理を依頼してください。(他に原因がないとき)	9
水フィルタのつまり。	○	○	○				○	○		つまりを除去する。	20
断水している。	○	○								「断水時の処置」参照。	16
凍結している。	○									解凍するまで待って、水漏れを確かめてください。	17
湯温設定が適切でない。								○		「使用方法」参照。	11
給湯栓の開き不十分。	○	○	○					○		給湯栓を全開にする。	9
安全装置が作動					○					点検、修理を依頼してください。	23
停電している。	○	○				○	○		○	「停電時の処置」参照。	16

処置や原因がわからないときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

安全装置が作動したときの処置方法

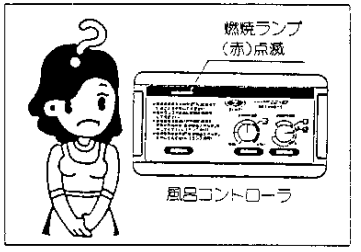
1安全装置作動時の報知（燃焼ランプの点滅）と処置について

●ご使用中に立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置が作動しますと、風呂コントローラの燃焼ランプが点滅し安全装置が作動したことを、お知らせします。
この時は、いったん給湯栓を閉じ、運転スイッチを押して「切」にしてください。約1分間様子を見てふたたび運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いたとき燃焼ランプの点滅が止まれば正常です。
その時燃焼ランプがふたたび点滅したときは、お買い求めのサービスショップに、ご連絡ください。

❶立消え安全装置
万一ご使用中にバーナの炎が消えてもガスがでないように安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

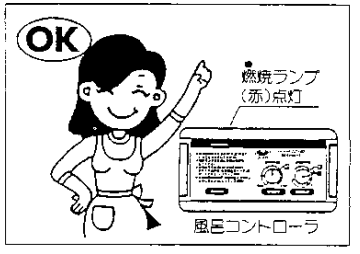
❷過熱防止装置
ご使用中器具内の温度が異常に高くなったときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

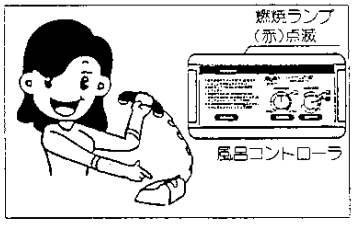
❸空だき安全装置
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まります。



給湯栓を閉じて、湯沸器本体正面の運転スイッチを「切」にする。

1分間待ってから運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開く。





2過昇温防止装置について

●ご使用の際に、湯温が過度に上昇したとき、この装置が作動し、自動的にガスが止まります。

3過圧防止安全装置について

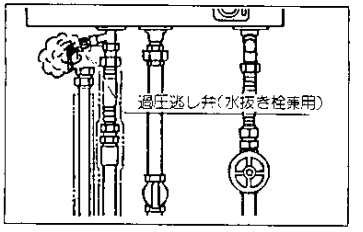
●器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めのサービスショップにご相談ください。

4 1時間安全装置（1時間タイマー）について

❶給湯を連続して約1時間以上ご使用されますと、安全装置が作動して自動的にガスが止まります。
この時は、いったん給湯栓を閉じ再度給湯栓を開いてください。
〔※故障ではありませんので、お間違いのないようにご注意ください。〕

❷お湯はり・追いだきをご使用中にお湯はり水位調節つまみの設定時間に達しても継続して約1時間以上運転する場合は安全装置が作動して自動的にガスが止まります。
〔※燃焼ランプが点滅して安全装置の作動したことをお知らせします。〕
お買い求めのサービスショップにご連絡ください。

《ご注意》
●空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧逃し弁が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。



5風呂アダプタ安全装置について

●浴そうの中に水またはお湯が入っていない状態で追いだき運転をしたときは、高温水は途中で止まりガスも停止します。
そのときは、追いだきスイッチを切って、約5分してから再度お湯はりスイッチを入れてください。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にして電源プラグを外し、ガス元栓・給水元栓を閉じ、必ず器具内の水を抜いてください。
※詳しくは、20ページの「器具内の水を抜く方法」の項をごらんください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

❶24~27ページの故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度確認してください。
❷確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
① 品 名…… ニュージェットフロー10
② 品 番…… 器具の左側面に貼付してあります。

（例）

③ 現 象…… できるだけ詳しく
④ 道 順…… できるだけ詳しく

転居される場合

●ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

●この器具には保証書がついています。
この器具は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
〔※詳しくは保証書をごらんください。〕
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　　長

1　●電子コントロール方式で出湯温度を検知して自動的にガス量を制御しますから、季節により水温が変化しても出湯温度は、一定です。

2　●風呂のフタをしたまま、お湯がはれます。お湯はりの水位を調節しておけば自動的に適量停止します。
〔※別売の給湯操作盤を取り付けますと、ブザーでお知らせします。〕

3　●ジェットフロー方式ですから風呂釜とちがい湯アカがでてきません。

4　●追いだきしたとき、浴そうの上下の温度差がほとんどなく快適な入浴ができます。

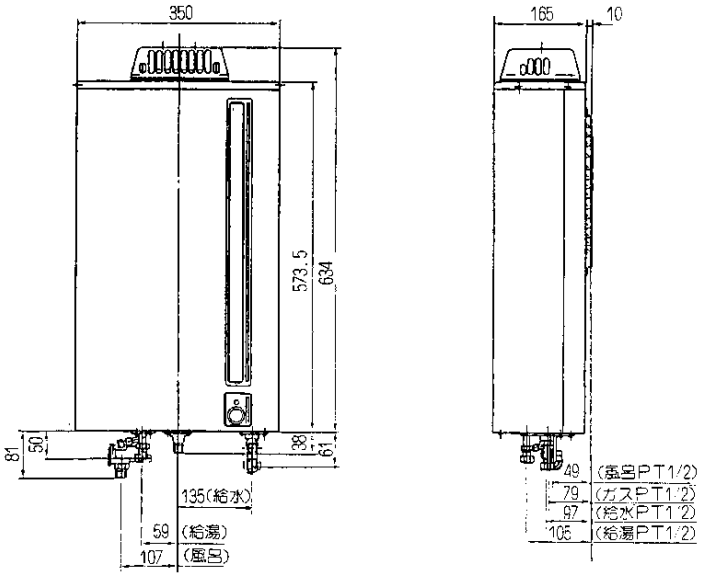
5　●省エネルギータイプです。
①出湯能力は水温により10号～3.5号まで自動的に調節しますから、無駄なガスを使いません。
②給湯栓を開くだけで、メーンバーナに着火するダイレクト着火方式ですから、パイロットのガスを使いません。

仕様一覧表

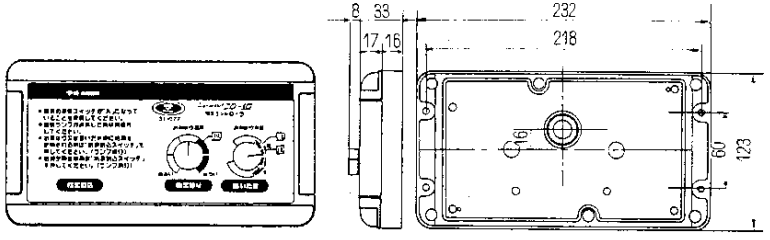
項目＼種別		《セントラル給湯機能付外だきタイプ》31-077型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
最大ガス消費量(Kcal/h)		19,500	19,500	19,500	1.5(kg/h)
給排気方式		屋外用			
外形寸法(mm)		高さ634×幅350×奥行165			
重量(kg)		20			
接続	ガス	都市ガス用・LPガス用15A(PT1/2)			
	給水	15A(PT1/2)			
	給湯	15A(PT1/2)			
	風呂	15A(PT1/2)			
定格電圧(V)		AC100			
定格周波数(Hz)		60			
定格消費電力(W)		凍結予防ヒータ作動時80			
点火方式		連続スパーク点火・ダイレクト着火			
使用水圧(kg/cm²)		0.8～10(最低作動水圧0.4)			
出湯能力(ℓ/分)〔水温+25℃〕		10(湯水混合水栓で混合した時)			
排気温度(℃)		260以下			
安全装置		立消え安全装置 過熱防止装置 空だき安全装置 過圧防止安全装置 凍結予防装置 漏電安全装置 風呂アダプタ			

外形寸法図

①器具本体

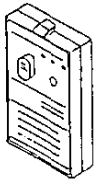


②風呂コントローラ

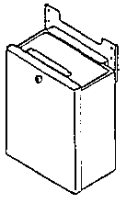


別売部品のご紹介

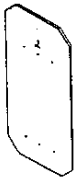
①給湯操作盤



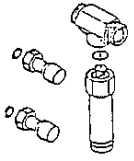
②据置台セット



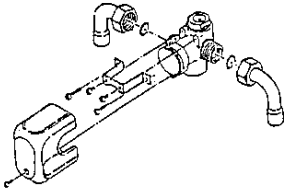
③防　熱　板



④低温作動弁セット



⑤バキューム取付セット



本製品と快適なくらしのために

年中、快適に風呂のお湯はり、追いだき、シャワー、上り湯が使用できます。
また、洗面化粧台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、栓を全開にしてから、ただちに
ご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5－1	☎大 06 (202) 2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大 06 (652) 0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3－6－35	☎大 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市緑の里町39－6	☎高槻0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4－11	☎西宮0798(26) 3101
東都支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	☎河内0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16－17	☎枚方0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5－13－10	☎神戸078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	☎奈良0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－1－1	☎和歌山0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4－8	☎姫路0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町栗津29－1	☎加古川0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	☎豊岡0796(3) 2221
淡南支社	〒525	津津市追分町字荒堀680－1	☎草津0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根0749(22) 3131
(長浜営業所)	〒526	長浜市南呉服町3－4	☎長浜0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社